

2022年6月6日

北杜市と空のインフラ構築を目的とした協定を締結

～安心安全なドローンの社会実装を目指して～

株式会社 A.L.I. Technologies
(株式会社エーエルアイテクノロジーズ)

株式会社 A.L.I. Technologies（本社：東京都港区、代表取締役会長：小松周平、以下「A.L.I.」）は、北杜市における小型無人機の離発着や保守運用を行う為の拠点となる空のインフラ構築を目指した連携協定を締結いたしました。



(左から) A.L.I. 小松 周平 会長 北杜市 上村 英司 市長

A.L.I.は空の道路公団を目指し、運航管理システムの開発をはじめ安心安全なエアモビリティ社会の基盤構築に取り組んでいます。山梨県が行う、先端技術の社会実装に向けた実証事業の、TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業にA.L.I.が採択され、実証の場に北杜市を選んだことで、空のインフラ整備、安心安全なエアモビリティの社会実装を目指すA.L.I.と、実証終了後も空のインフラの有効活用・社会実装を推進している北杜市、両者の目的が合致したことから本協定の締結に至りました。

今回の実証では北杜市に空のインフラの核となる”空の駅”を整備し、空の駅間を結ぶ飛行航路を確立します。航路上を飛行している複数機体を、弊社運航管理システムC.O.S.M.O.S.にて一元管理します。実証終了後は空の駅ネットワーク網のさらなる拡大を行い、北杜市が主体となってドローンを使った災害対応の強化やドローンシェアリングの体制を構築する予定です。同時に、北杜市が整備した空のインフラを民間事業者に広く開放することで、ドローンによる物流の定期運航の実施を行うなど、住みよい街づくりを行ってまいります。

協定締結の様子



代表取締役 小松 周平は、挨拶の中で「2022年はドローン飛行のレベル4が解禁される年。人々の生活をより便利に、快適にするためのドローン利用が期待されている。今回の連携協定を機に、北杜市における空の産業革命を見据えたドローンの社会実装の安心安全な運用を進めたい。A.L.I.はこれからも自治体レベルのドローン実装を推進していく。」と述べました。

今後、両者は連携しながら、地域住民の安全・課題に配慮した空のインフラ構築を推進してまいります。A.L.I.は今後も空の産業革命にむけた、ドローンの安全な社会実装に向けて北杜市と協働し事業開発に取り組んでまいります。

<株式会社 A.L.I. Technologies>

A.L.I. Technologies は、「空中域（地面と空のあいだ、人の生活範囲の空中）から社会の仕組みを変えていく」をスローガンに、エアモビリティプラットフォームとなる管制アプリケーション「C.O.S.M.O.S.」、実用型ホバーバイク「XTURISMO」を展開しています。A.L.I. Technologies は、システム開発や機体開発のように、ソフト・ハードの枠組みにとらわれず、エアモビリティ社会の実現に必要なシステムをグローバルに発信する日本発のスタートアップ企業として、イノベーションを起こし続けてまいります。

公式サイト： <https://ali.jp/>

お問い合わせ先： info@ali.jp（広報ユニット）